

2021年度 第52回 中部日本ジュニア水泳選手権大会

【監督者会議資料】

1. 競技について

- (1) 本競技会は、2021年度（公財）日本水泳連盟競泳競技規則にのっとり実施する。
- (2) 競技は、予選・決勝ともに10レーンで、タイムスケジュールどおりに行う。
競技が早まった場合は、時間調整を行う。
- (3) 決勝は10名で行う。ただし、400m自由形およびリレー種目はタイムレース決勝とする。
- (4) 決勝進出者について、同記録で予定人員を超えた場合、50m および 100m 種目についてはスイムオフを行う。その他の種目では、抽選にて決勝進出者を決定する。
- (5) 補欠が同記録で複数いる場合は、抽選にて優先順位を決定する。
- (6) 各種目、予選最終組の競技成立後、電光表示板にてランキングを表示する。抽選を行う場合は、この時通告にて案内するので、通告から20分以内に、リゾリューションデスクまで来ること。
※時間内に、抽選対象の選手または引率コーチがリゾリューションデスクに来ていない場合は、第三者の立会いの下、愛知水泳連盟競技委員にて代理抽選を行う。
※抽選の際は、選手・引率コーチいずれか1名が立ち会えば、要件を満たすものとする。
- (7) 招集は、予選・決勝ともに、別紙「種目別 招集エリア入場時間」に記載の「招集開始時間」に行う。
※本競技会では、新型コロナウイルス感染拡大防止を目的として、招集での選手密集を防ぐため、「招集エリア」を設置し、入場時間を指定している。別紙を確認し、「招集エリア入場時間」から「招集開始時間」までの5分間に、招集待機エリアへ入場できるよう、時間を調整して移動すること。
- (8) 決勝の招集について、指定の「招集開始時間」に、予選上位10名までの選手が不在の場合、審判長の権限において、補欠の選手の繰り上げを行う。繰り上げの決定をした後は、決勝出場の権利は復活しない。
※複数種目で決勝に進出した選手は、1種目目の決勝競技の招集において、招集員にその旨を伝えること。この場合は、上記措置の対象外とする。
※補欠の選手も、必ず決勝の招集に来ること。
- (9) 予選を棄権する場合は、所定の棄権用紙を軽運動室内リゾリューションデスク（以下、「リゾリューションデスク」）に提出すること。（別紙二次要項 No.1 参照）
- (10) 決勝を棄権することはできない。やむなく棄権する場合は、その予選競技終了後20分以内に、所定の棄権用紙を、棄権料3,000円を添えてリゾリューションデスクへ提出すること。
※ただし、棄権の理由が競技会の期間内にアリーナ内で被った負傷による場合は、これを免除する場合がある。
- (11) 補欠の権利を辞退する場合も、所定の棄権用紙をリゾリューションデスクに提出すること。ただし、この場合は棄権料の徴収はしない。
- (12) 予選競技のスタートは、オーバー・ザ・トップ方式で行う。次組のスタート完了まで水中で待機し、スタート後は折返監察員の指示によりプール横から退水すること。
背泳ぎ全組およびその他種目の最終組については、競技成立後、速やかにプール横から退水すること。
(次ページへ続く)

- (13) 選手紹介は、予選は組のみの紹介とする。
タイムレース決勝では、最終組を除き、選手の入場後に各レーンで紹介を行う。
タイムレース決勝の最終組および各決勝競技では、選手控室から1名ずつ入場とし、これに合わせて紹介を行う。
- (14) ゴールタッチは、タッチ板の有効面に確実にタッチすること。
- (15) 本競技会招待選手の紹介を行う。詳細は、別途対象チームに連絡する。

2. プールの使用について

- (1) メインプール
 - ①アリーナ内は、選手・監督・コーチは裸足とする。
 - ②1～4レーンは男子選手、5～10レーンは女子選手専用とする。
1・10レーンは常時ダッシュレーンとし、スタートはダイビングプール側からの一方通行とする。
 - ③公式スタート練習は、両日ともに9:15～9:45まで、1・2・9・10レーンで行う。
ダッシュレーンにはバックストロークレッジを設置する。
 - ④予選競技終了後の練習は、当日のタイムレース決勝および決勝出場者のみとし、決勝競技開始15分前までとする。
 - ⑤パドル・フィン・コード類の使用は禁止する。
- (2) サブプール・ダイビングプール
 - ①サブプールのプールサイドは、選手・監督・コーチは裸足とする。
 - ②1～3レーンは男子選手、4～8レーンは女子選手専用とする。
 - ③ダッシュレーンは設けない（飛び込み禁止）。
 - ④両日ともに、8:30から競技終了まで使用できる。
 - ⑤パドルおよびコード類の使用は禁止する。
 - ⑥ダイビングプールの使用は、決勝種目における表彰対象者のみ使用できる。
※競技役員長の指示に従い、表彰式の時間までに準備しておくこと。

3. 会場の使用について

- (1) 「競技会場における商業ロゴマーク等についての規定」を厳守すること。
- (2) チーム控え場所は、指定された場所のみとする。ゴミ等は必ず持ち帰ること。
- (3) スタンドの最前列に立っての応援は禁止する。

4. 注意事項等

- (1) 貴重品は各チームの責任において管理すること。主催者は盗難に対して一切責任を負わない。
- (2) 決勝のスタートリストをリゾリューションデスクにて1部200円で販売する。
販売時間については、通告等にて案内する。
- (3) 競技結果は、日本水泳連盟公認モバイルサイト「スイムレコードモバイル（超速）」、および東洋電子ホームページにて確認することができる。

以上